

議案番号	件名	議決結果
陳情第3号	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施中止又は延期を求める意見書提出を求める陳情	不採択
議決第9号	富士宮市議会政治倫理条例制定特別委員会の設置について	原案可決 全会一致
議第58号	富士宮市立児童館条例制定について	//
議第59号	公の施設の指定管理者の指定について（富士宮市天子の森）	//
議第60号	公の施設の指定管理者の指定について（富士宮市富士山天母の湯）	//
議第61号	公の施設の指定管理者の指定について（富士宮市救急医療センター）	//
議第62号	静岡県営土地改良事業の分担金の徴収の時期及び方法の決定について	//
議第63号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算（第6号）	//
議第64号	令和3年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	//
議第65号	令和3年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議第66号	令和3年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	//
議第67号	令和3年度富士宮市水道事業会計補正予算（第2号）	//
議第68号	令和3年度富士宮市下水道事業会計補正予算（第2号）	//
議第69号	令和3年度富士宮市病院事業会計補正予算（第1号）	//
議第70号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算（第7号）	//
議第71号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算（第8号）	//

※陳情＝陳情、議決＝議会からの議案、議＝条例・予算・契約などの議案の略。

※議案番号は、令和3年2月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話 22-1191）までお問い合わせください。

【賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

議案・結果	議員名 (議席番号順)	渡辺佳正	若林志津子	近藤千鶴	辻村岳瑠	細沢 覚	望月則男	齋藤和文	佐野寿夫	植松健一	仲亀恭平	臼井由紀子	深澤竜介	佐野 孜	佐野和彦	船山恵子	佐野和也	望月芳将	諏訪部孝敏	鈴木 弘	村瀬 旬	小松快造	松永孝男	
		陳情第3号 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施中止又は延期を求める意見書提出を求める陳情		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ 議長は表決に加わりません。

適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施中止又は延期を求める意見書提出を求める陳情とは？

適格請求書等保存方式とは、令和5年10月から開始される、消費税の仕入税額控除方式のことで、通称「インボイス制度」と呼ばれています。

現在の方式（請求書等保存方式）では、課税事業者、免税事業者※を問わず、仕入税額控除が可能です。インボイス制度では、認定事業者のみが発行できる「適格請求書」のみが仕入税額控除の対象となり、それ以外の請求書類では仕入税額控除ができなくなります。

富士宮民主商工会から提出された今回の陳情は、このインボイス制度の実施中止又は延期を求める意見書を、富士宮市議会から関係各所に提出することを求めるものですが、以下討論や委員会での質疑の結果、この陳情は不採択（意見書を関係各所に提出しない）としました。

※免税事業者とは、消費税において課税期間の基準期間における課税売上高が1000万円以下の事業者で、その課税期間における課税資産の譲渡等について、納税義務が免除されている事業者のこと（一部例外あり）。

【賛成討論 若林 志津子議員】（インボイス制度の実施中止または延期に賛成）

インボイス制度は、免税業者を取引から排除しかねないため、全国500万の免税事業者の死活問題となる。また、コロナ禍で中小業者・小売業者は制度の内容を知ることや準備ができていない。日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本税理士会連合会など多くの団体が導入の撤回・凍結・延期を求めていることなどから、陳情に賛成する。

【反対討論 佐野 寿夫議員】（インボイス制度の実施中止または延期に反対）

以下の内容により、インボイス制度については国の動向を注視していくべきと考えている。

- ・ 公平な税負担の確保につながる。
- ・ 制度開始後6年間は一定の仕入額控除を認める経過措置期間があり、この間に事業者は対応を見極めることができる。
- ・ 電子インボイス等のデジタル化により、商売全体の効率化を進められる。
- ・ 各団体から制度自体への意見が寄せられており、まだ変更される余地がある。